



**【戦 評】 7/22試合番号 21  
RIVERSOUL 岐阜 VS 福井クラブ**

岐阜のセンターパスから試合が開始された準々決勝。開始から緊迫した試合展開が続く。岐阜はパス回しから福井陣内に攻め込むが福井の粘り強い守りに大きなチャンスを作ることができない。対する福井はカウンター攻撃を仕掛けるもこちらも大きなチャンスを作ることができない。22分、岐阜がP Cを獲得するも得点には至らず。試合が動いたのは前半残り5分。福井1番齋藤が左サイドからセンタリング。そのボールを7番渡辺がきれいにあわし先取点をもぎ取った。この後も緊迫した試合展開のまま、1対0福井リードで前半を終了。後半に入っても緊迫した試合が続く、試合が動き出したのは後半12分。岐阜がP Cを獲得するも、相手ディフェンスに阻まれる。このボールを福井はカウンター攻撃でP Cを獲得。しかし、福井もこのチャンスを決めることができない。この後もお互いにP Cを獲得するも得点には至らず。17分には福井がP Cを獲得し、福井2番為国がヒットシュート。これがゴールポストに阻まれ追加点を加えることはできない。結局、この後もお互いに得点することができず福井が1対0で接戦をものにした。